

令和元年度 ニシン漁獲物調査速報(8)

1～3月に実施しているニシン漁獲物調査の結果を随時お知らせしています。
3月9日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので結果をお知らせします。石狩湾漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】(年齢更新版)

1. 漁獲状況

厚田地区では大きい目合(2.2～2.4寸主体)の刺し網を使っており、依然として「特大」や「大」などの大型主体の漁獲が続いていました。

2. メスの完熟率(表1)

今回測定したメスは全て完熟状態でしたが、オス35尾中の2尾が放精後であり、産卵も進んでいるようです。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長は依然として30cm以上の大型個体が大半を占め、年齢は5年魚が全体の62%を占め、次いで4年魚が多かったです。ただし、25cm近くの小型個体も混じるようになっていることから、若齢個体も来遊しているものの、多くは刺し網の網目から抜け、来年度以降の資源として取り残されているものと思われる。

表1 ニシン漁獲物調査結果

銘柄	メス	オス特大	オス大	合計
漁獲重量(kg: 標本船分)	280	150	10	440
漁獲尾数(標本船分)	825	433	39	1,297
測定尾数	24	15	20	59
平均尾叉長(mm)	306	312	286	307
平均体重(g)	340	346	256	339
メスの割合	100%	0%	0%	
メスの完熟率*	100%			100%

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの割合

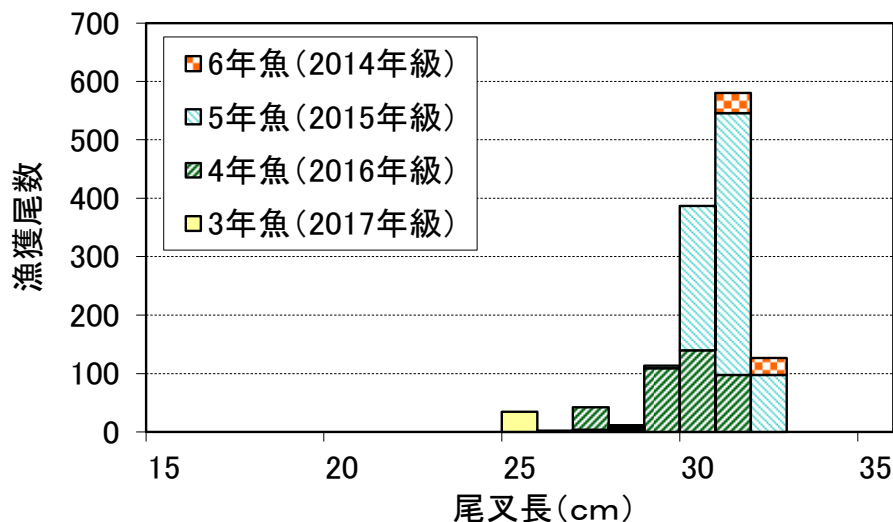


図1 2020年3月9日厚田地区 年齢別尾叉長組成